

令和4年度 金沢市森づくり市民会議（第1回）

日 時：令和4年8月8日（月） 13時30分～15時00分

会 場：金沢市役所第2本庁舎3階 2301会議室

出席委員：金森委員、河崎委員、澤田委員、杉野委員、橘委員、西多委員、
能木場委員、増江委員、水越委員、森委員、柳井委員、横山委員

欠席委員：石村委員、大河原委員、鏝委員（五十音順 敬称略）

事務局：山森農林水産局長、橋本森林再生課長補佐 ほか3名

【次第】

1 開 会

2 挨拶

3 会長挨拶

4 議 題

① 報告案件

令和3年度森林再生施策の実施報告および令和4年度の取り組みについて

② 審議案件

森ミライ活動推進部会の設置（案）について

5 閉 会

【議事録】

事務局より説明

① 報告案件

令和3年度森林再生施策の実施報告および令和4年度の取り組みについて

（会長）

令和3年度森林再生施策の実施報告および令和4年度の取り組みについて意見はないか。

（委員）

金沢市では森林環境譲与税、森林環境税は今後どのように使われるのか。また交付金額はどのように算定されるのか。

（事務局）

森林環境譲与税活用検討会において使い道について検討してきた。森林環境税については国民一人一人から徴収する税金であることを踏まえ、森林に携わ

る機会がない人たちも恩恵が受けられるような活動をしていくべきだと提言があった。今後は検討会での提言内容をもとに税を有効に活用していく予定である。

なお、交付金額については人工林面積、林業従事者数、人口により按分され交付される。

(委員)

森林環境譲与税を使わずに基金として積み立てている自治体もあるとのことだが、金沢市の執行状況はどうなっているのか。また公開しているのか。

(事務局)

金沢市は令和3年度はすべて執行している。使途についてはHPで公開している。

(委員)

林業大学校修了生の終了後の進路は。

(事務局)

6期生までの修了人数は80名で修了時点での進路調査によると、森林整備への従事者は37名、林産物生産への従事者は33名であり、9割近くが林業関係に携わっている。

(委員)

林業や森づくり活動に興味がない人たちに興味を持ってもらい、担い手になってもらうための活動を今後どのようにしていくつもりか。

(事務局)

森林環境譲与税活用検討会の中で、現在行われている森づくり活動などがどこでどのように行われているのか知る仕組みがない、との意見があった。

そのため、森ミライ活動拠点という新たなプラットフォームを創出し、森づくり活動などの情報を発信することで多くの市民が森について考えるきっかけを作り、プレイヤーを増やしたい。

(委員)

「森ミライ活動」や「木の文化都市」など金沢市が目指す方向性について市民に対し啓発活動をし、市民一丸となった活動をしていく必要があると思うが、市

としてどのような啓発活動をしてくのか。

(事務局)

森ミライ活動の拠点創出を検討する中で、啓発活動についても検討したい。今後の森ミライ活動については次の審議案件の中で詳細を説明する。

(委員)

森づくり活動については森林の所有者に利益が還元できる体制も併せて考える必要があると思う。また、自伐型林業については作業道の開設もすることから市の方で自伐型林業をする人に対し補助金を交付することも検討しているのか。

(事務局)

他都市の事例等も参考にしながら今後検討をしていきたい。

事務局より説明

② 審議案件

森ミライ活動推進部会の設置（案）について

(会長)

今回の審議案件について意見はないか。また、先ほどの「① 報告案件 令和3年度森林再生施策の実施報告および令和4年度の取り組みについて」での意見もまだあればお聞かせ願いたい。

(委員)

幼児の頃から森林活動に馴染みがないと、大人になっても興味が湧かないと思う。幼稚園、小中学校、高校から大人へと継続的に森林活動をすることで、森林に興味を持つ人が増えるのではないかと思う。

また、特に幼児教育機関は企業と連携した活動の機会が少ないので、つながるためのハブができるのは今後の幼児教育にとって大変良いことだと思った。

(委員)

それぞれの専門分野のメンバーが入る部会を設けることで、市民会議も充実したものになるのではないか。

(委員)

主伐をして木材がますます供給されることが予想される中では、川上・川中・

川下が連携して付加価値の高い商品やサービスを提供できるマーケットの体制を作ることが大切だと思うため、今後はマーケット部門の専門家も部会のメンバーに入れてみてはどうか。

(委員)

目指す方向が業種・団体のよって違うと思うので、部会で目指す方向をしっかりと定めていただき、森ミライ活動の拠点創出を進めていくのが良いと思う。

(委員)

林業だけでは生計を立てることが難しいのが現状のため、林業だけでなく農業の仕事も併せてすることで生計を立てられるような仕組みを作ってみてはどうか。

(委員)

獣害対策をしっかりとしていただきたい。また、木材の利用については、公共事業から民間へと幅広く広がって欲しいと思う。

(委員)

専門部会のメンバーに選出されていることから、これまでの経験を活かし、森ミライ活動の拠点創出にあたり、多岐に渡る森林の課題について勉強し、よりよい提案ができるようにしていきたい。

(委員)

山に近い幼稚園や保育所は自然が近くにあり、森に触れ合うことができるが、それらの施設は限られている。まちなかでは公園などの緑も減っている印象があり、森を身近に感じられるような場所がもっとあるとよいと思う。

(委員)

森林活動をする際は、年齢ではなく同じ目的をもった人たちで活動することでよりよい内容のものを提供できるのではないかと思う。

森ミライ活動推進部会については、部会のメンバーだけでなく、市民会議の委員らも森ミライ活動の拠点創出に対して意見を言う機会があってもいいのではないか。また、ただ人をつなぐだけでなく、つないだ後の活動もフォローできるような仕組みを検討する必要があると思う。

(委員)

ただ拠点設けるだけでなく、中身のある拠点となるように市民会議の委員の意見を聞きながら検討をしていきたい。

(委員)

森ミライ活動について賛成である。一つの活動だけ突き詰めるのではなく、つながりを持ちつつ、全体が発展していくのが望ましいと考えている。

また、木や森林を身近に感じられるよう、人々が交流できる拠点となる施設があるとよいと思う。施設のデザインについては著名な建築家などに設計をしてもらってみてはどうか。

(会長)

森ミライ活動推進部会のメンバーだけでなく、必要に応じて市民会議の委員に意見を聞きながら進めていただきたい。

それではただいまの審議案件「森ミライ活動推進部会の設置（案）」についてこのとおりでよいか、決議したいので、異論がなければ拍手をお願いしたい。

(拍手)

(会長)

それでは、森ミライ活動推進部会の設置について、承認をいただいたので、事務局には、この市民会議の新しい体制も活用しながら、着実に施策を推進していただきたい。